

第 48 回 社会保険労務士試験  
**選択式 ズバリの中**

今年も的中続出！！  
 信頼のTAC教材！

本試験問題	T A C教材
-------	---------

(上段：問題、下段：答え)

**【 労働基準法 】**

<p>したがって、労災保険法 12 条の 8 第 1 項 1 号の療養補償給付を受ける労働者が、療養開始後 [ B ] を経過しても疾病等が治らない場合には、労働基準法 75 条による療養補償を受ける労働者が上記の状況にある場合と同様に、使用者は、当該労働者につき、同法 81 条の規定による [ A ] の支払をすることにより、解雇制限の除外事由を定める同法 19 条 1 項ただし書の適用を受けることができるものと解するのが相当である。</p> <p>B : 3 年 A : 打切補償</p>	<p style="text-align: center;"><b>教材・箇所等</b></p> <hr/> <p style="text-align: center;"><b>実力完成答練 第 3 回 問 3</b></p> <p>したがって、労災保険法 12 条の 8 第 1 項 1 号の療養補償給付を受ける労働者が、療養開始後 [ E ] を経過しても疾病等が治らない場合には、[ A ] 75 条による療養補償を受ける労働者が上記の状況にある場合と同様に、使用者は、当該労働者につき、同法 81 条の規定による [ B ] の支払をすることにより、解雇制限の除外事由を定める同法 19 条 1 項ただし書の適用を受けることができるものと解するのが相当である。」</p> <p>E : 3 年 B : 打切補償</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【 労働安全衛生法 】**

<p>労働安全衛生法第10条第2項において、「総括安全衛生管理者は、[ D ] をもって充てなければならない。」とされている。</p> <p>D : 当該事業場においてその事業の実施を統括管理する者</p>	<p style="text-align: center;"><b>教材・箇所等</b></p> <hr/> <p style="text-align: center;"><b>暗記カード① 安衛-3</b></p> <p>2. 資格等                  総括安全衛生管理者は、当該事業場においてその事業の実施を [ C ] する者をもって充てなければならない。</p> <p>C : 統括管理</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

労働安全衛生法第10条第2項において、「総括安全衛生管理者は、[ D ]をもって充てなければならない。」とされている。

D：当該事業場においてその事業の実施を統括管理する者



教材・箇所等  
トレーニング I 部問2

2 総括安全衛生管理者は、当該事業場においてその事業の実施を [ B ] する者をもって充てなければならない。

B：統括管理

## 【 労災保険法 】

労災保険法第12条の2の2第2項によれば、「労働者が故意の犯罪行為若しくは重大な過失により、又は正当な理由がなくて [ B ] に従わないことにより」、負傷の回復を妨げたときは、政府は、保険給付の全部又は一部を行わないことができる。

B：療養に関する指示



教材・箇所等  
暗記カード① 労災-31

労働者が正当な理由がなくて [ G ] ことにより、負傷、疾病若しくは障害の程度を増進させ、又はその回復を妨げたとき

G：療養に関する指示に従わない

「発症前の長期間とは、発症前おおむね [ C ] をいう」とされている。疲労の蓄積をもたらす要因は種々あるが、最も重要な要因と考えられる労働時間に着目すると、「発症前 [ D ] におおむね100時間又は発症前 [ E ] にわたって、1か月あたりおおむね80時間を超える時間外労働が認められる場合は、業務と発症との関連性が強いと評価できること」を踏まえて判断される。

C：6か月間  
E：2か月間ないし6か月間



教材・箇所等  
全国公開模試 SPECIAL 特典  
選択式予想問題集 問5

発症前の長期間とは、発症前おおむね [ C ] をいい、また、[ B ] をもたらす最も重要な要因と考えられるのは、労働時間であるとしている。具体的には、発症日を起点とした1か月単位の連続した期間をみて、発症前1か月間におおむね [ D ] 又は発症前2か月間ないし [ C ] にわたって1か月当たりおおむね [ E ] を超える時間外労働が認められる場合は、業務と発症との関連性が強いと評価できるとしている。

C：6か月間

## 【 雇用保険法 】

<p>労働者の [ A ] を図るとともに、[ B ] を容易にする等・・・</p> <p>その他労働者の [ C ] を図ることを目的とする。</p>
<p>A : 生活及び雇用の安定</p> <p>B : 求職活動</p> <p>C : 福祉の増進</p>



<p>教材・箇所等</p> <p>暗記カード① 雇用－1</p>
<p>労働者の [ C ] を図るとともに、[ D ] を容易にする等・・・</p> <p>その他労働者の [ F ] を図ることを目的とする。</p>
<p>C : 生活及び雇用の安定</p> <p>D : 求職活動</p> <p>F : 福祉の増進</p>

<p>労働者の [ A ] を図るとともに、[ B ] を容易にする等・・・</p>
<p>A : 生活及び雇用の安定</p>



<p>教材・箇所等</p> <p>トレーニング 第I部問1</p>
<p>労働者の生活及び [ C ] を図るとともに、求職活動を容易にする等・・・</p>
<p>C : 雇用の安定</p>

## 【 社会保険に関する一般常識 】

<p>市町村は、国民健康保険料を滞納している世帯主が当該保険料の納期限から [ D ] が経過するまでの間に当該保険料を納付しない場合においては、当該保険料の滞納につき災害その他の政令で定める特別の事情があると認められる場合を除き、厚生労働省令で定めるところにより、当該世帯主に対し被保険者証の返還を求めるものとする。</p>
<p>D : 1年</p>



<p>教材・箇所等</p> <p>一般常識セミナー 演習・資料編 P76</p>
<p>1 市町村又は特別区（以下単に「市町村」という。）は、保険料を滞納している世帯主が、当該保険料の納期限から [ A ] が経過するまでの間に当該保険料を納付しない場合においては、当該保険料の滞納につき災害その他の政令で定める特別の事情があると認められる場合を除き、当該世帯主に対し被保険者証の返還を求めるものとする。</p>
<p>A : 1年</p>

## 【 健康保険法 】

1 … (略) …その月以前の12か月以内に高額療養費の支給を受けたことがない場合の高額療養費算定基準額は、252,600円 + (1,000,000円 - [ A ]) × 1%の算定式で算出され… (略)

A : 842,000円



教材・箇所等

全国公開模試 S P E C I A L 特典  
選択式予想問題集 問 18

(2) 療養のあった月の標準報酬月額が83万円以上の被保険者又はその被扶養者

① 次の②以外の場合…

252,600円 + (療養に要した費用の額\* - [ B ]円) × 1%

※その額が [ B ]円に満たないときは、  
[ B ]円

B : 842,000

## 【 厚生年金保険法 】

… (略) …その月の分の当該老齢厚生年金について、[ A ]と基本月額との合計額から… (略) … (以下「[ C ]という。」に相当する部分の支給を停止する。

A : 総報酬月額相当額



教材・箇所等

全国公開模試 S P E C I A L 特典  
選択式予想問題集 問 20

… (略) …その月の分の当該老齢厚生年金について、[ B ]と基本月額との合計額から… (略) … (以下本問において「支給停止基準額」という。)に相当する部分の支給を停止する。

B : 総報酬月額相当額

## 【 国民年金法 】

国民年金法は「国民年金制度は、日本国憲法第25条第2項に規定する理念に基づき、老齢、障害又は死亡によって国民生活の [ A ] がそこなわれることを国民の [ B ] によって防止し、もつて健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする。」と規定している。

A : 安定

教材・箇所等

暗記カード② 国年－1

国民年金制度は、日本国憲法第25条第2項に規定する理念に基づき、老齢、障害又は死亡によって [ A ] がそこなわれることを国民の共同連帯によって防止し、もつて [ B ] の維持及び向上に寄与することを目的とする。

A : 国民生活の安定

国民年金法は「国民年金制度は、日本国憲法第25条第2項に規定する理念に基づき、老齢、障害又は死亡によって国民生活の [ A ] がそこなわれることを国民の [ B ] によって防止し、もつて健全な国民生活の維持及び向上に寄与することを目的とする。」と規定している。

B : 共同連帯

教材・箇所等

ミニテスト第1回

国民年金制度は、日本国憲法第25条第2項に規定する理念に基き、老齢、障害又は死亡によって [ A ] の安定がそこなわれることを [ B ] によって防止し、もつて健全な [ A ] の維持及び向上に寄与することを目的とする。

B : 国民の共同連帯

- (1) 納付義務者が厚生労働省令で定める月数である [ D ] か月分以上の保険料を滞納していること、
- (2) 納付義務者の前年の所得（1月から6月までにおいては、前々年の所得）が [ E ] 以上であること、

D : 13

E : 1,000万円

教材・箇所等

実力完成答練 第6回 問5

- (1) 納付義務者が [ C ] 分以上の保険料を滞納していること。
- (2) 略
- (3) 納付義務者の前年の所得（1月から6月までにおいては、前々年の所得）が [ D ] 以上であること。
- (4) 略

C : 13月

D : 1千万円